

### 子どもの本だな 84

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

#### ジョニーのかたやきパン

ルース・ソーヤー 文 こみや ゆう 訳  
ロバート・マックロスキー 絵 (岩波書店)

ジョニーは、おじいさんとおばあさんの家で手伝いをしていましたが、食べ物がなくなり、新しい仕事を先を見つけることになりました。

ジョニーが坂道を下っていると、背負っていた袋の紐が切れて、おばあさんが持たせてくれたかたやきパンが飛び出しました。かたやきパンは「おいらはころがるかたやきパン！ころがるおいらをつかまえて、たべられるもんならたべてごらん！」と歌い、坂道を転がり始めました。ジョニーはパンを追いかけて、草原にいた牛もパンを食べようと追いかけて、歌をききつけたあひる、羊、豚、めんどり、ろぼも次々と後に続きました。坂道を上りきり、くたくたになったかたやきパンが倒れた場所は、あのおじいさんとおばあさんの家でした。かたやきパンのおかげで、ジョニーはたくさんの動物を連れて帰り、おじいさんとおばあさんの家で再び暮らすことができました。

くすんだ緑色を背景に、茶色と白でジョニーと動物が力強く描かれており、おはなしをより一層盛り上げます。読んでもらえば4歳くらいから。(盛岡)

#### 山の上の火 エチオピアのたのしいお話

クーランダー、レスロー 文  
渡辺 茂男 訳 (岩波書店)

お金持ちのハプトムは召使のアルハに賭けを持ちかけました。寒い夜中、食物も着物も火もなしで山の一番高い峰に一晩中立てば、40ヘクタールの畑と家、牛、ヤギをやるとういのです。アルハが物知りじいさんに相談すると、山から谷を隔てた高い岩の上で火を燃すから、それを見つめてやり遂げるように言いました。その夜、山の頂に立ったアルハは遠くでチカチカする火を見つめて立ちつづけました。翌朝、ハプトムはアルハが火を使ったと咎め、裁判官もアルハの負けだと言います。アルハの話聞いたじいさんは昔の主人ハイルに助けを求め、ハイルはハプトムと裁判官が自らの間違いに気づくよう、みごとに計りました。「山の上の火」

多民族で歴史の古い国エチオピアの昔話集。知恵を働かせて力の強いものを負かす話や、ユーモアたっぷりの話など、日本の昔話とは違う味わいがあります。10歳くらいから楽しめます。(西村)

11月	12月	11・12月の移動図書館 (いずれも木曜日です)				
12日	3日	塚森 地域内 10:30~ 10:50	沖代 地域内 11:00~ 11:20	福地(三反長) 地域内 14:30~ 14:50	米田 公会堂 15:00~15:20	竹広南 公民館 15:30~15:50
19日	10日			原池団地 公民館 15:00~ 15:20	山田 掲示板前 15:30~15:50	原 太田東地区農村 交流センター 16:00~16:30
26日	17日	広坂 公民館 10:30~ 10:50	上太田 公民館 11:00~ 11:20		太子 ニュータウン 公民館 15:30~15:50	吉福 公民館 16:00~16:30

**<お知らせ>**  
**\*青空リサイクル\***  
**～ひと箱市～**

読まなくなった本を持ち寄って、古本市を開きます。個人提供なのでどんな本が集まるかお楽しみに！

◎開催日: **11月15日(日)**  
(※雨天の場合、22日(日)に延期)

◎時間: **10:00~14:00**  
(本がなくなり次第終了)

◎場所: 「ふるさと文化村」中庭

※本はすべて無料です。  
**本を出したい方は、事前申込が必要**  
**です。** 詳しくは、太子町立図書館、または図書館ホームページまで。

# 『骨が語る人類史』 ブライアン・スウィーテック 著

大槻 敦子 訳 原書房 266, xviii頁 2020年2月刊 2,700円 (請求記号) 469.4

骨は生物の記録装置である。例えば太古に絶滅した恐竜は、骨が化石となって現代に残り、何億年も前の情報を私たちに提供してくれる。骨がもたらしてくれた記録は知識へと昇華され、進化学や古生物学へと発展する。

骨の発生は古生代前期のカンブリア紀までさかのぼる。この時代に存在したピカイアという名前の原始脊椎動物が人間の原型のひとつと考えられている。全長3.8cm程度のピカイアには脊索の基本構造が見られた。これは人間の背骨にあたり、現代に生きる脊椎動物の骨格の基本的構造に類似している。その後、3000万年たっても骨は出現しなかったが、今から4億5500万年前にアスピディンという将来骨へと進化する物質が誕生する。この物質は無細胞であり、古代魚の外郭を鎧のように覆っていた。それが長い時間を経て骨のように自己修復できる物質になり、体内に潜り込んで枠組みを形成する骨格へと進化する。そして古代魚は生活の場を陸上に移し、原始哺乳類や原始霊長類を通過して、やがてホモ・サピエンスのような現代の人間に近い骨格を持つ生物へと進化するのである。

骨が教えてくれるのは生物の進化のプロセスに留まらない。地下駐車場で見えられた骨がイングラント王、リチャード三世だと判明したのも骨そのものの力が大きい。骨は生体組織であるため細胞にはDNAが含まれている。そのDNAをリチャード三世の近親者と比較することで、骨が本物の王であると認められたのである。さらに、骨が明らかにしたのはリチャード三世の遺伝情報だけではない。歯や骨に閉じ込められた化学物質の同位体から、その人物の食生活が分かる。この手掛かりからリチャード三世の正確なライフスタイルを再構築したほか、骨の外傷から王の凄惨な最期までも解き明かしてみせた。

骨への見識を深めることで、人間の進化の過程を垣間見ることが出来るほか、歴史や文化といった人類史についても読み解くことができる。骨は私たちの身近な存在でありながら、様々な知見を広げてくれる。

(光藤)

## 11月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	<del>3</del>	<del>4</del>	5	6	7
8	9	<del>10</del>	<del>11</del>	12	13	14
15	16	<del>17</del>	<del>18</del>	19	20	21
22	23	<del>24</del>	<del>25</del>	26	27	28
29	<del>30</del>					

## 12月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
		<del>1</del>	2	3	4	5
6	7	<del>8</del>	9	10	11	12
13	14	<del>15</del>	16	17	18	19
20	21	<del>22</del>	23	24	25	26
27	<del>28</del>	<del>29</del>	<del>30</del>	<del>31</del>		

### [11月の絵本の時間・おはなしの時間]

- 「絵本の時間」
  - ・11月5、12、19、26日
  - ・木曜日、11:00~11:30
- 「おはなしの時間」
  - ・11月7、14、21、28日
  - ・土曜日、11:00~11:30
  - ・対象：4歳~中学3年生

\*カレンダーの×印は休館日  
 11/4、25は祝日の振替、  
 11/30、12/28は館内整理日  
 12/29~1/3は年末年始  
 ※年末年始、返却ポストは使えません

\*開館時間は10:00~18:00、  
 金曜日は20:00まで開館

## 地下水

毎月、月末に館報用の原稿を仕上げるとほっとする。特に、一般書の紹介は本選びから時間がかかり、担当の順番が近づいてくると、気が重くなる。9月末に一般書の案内文を書き終え、いまなら読めると『狐物語』『クオ・ヴァデイス(上・下)』(ともに福音館書店)を持ち帰った。

開放感からか休日は、朝4時に起きては、パン、ケーキ作りに取りかかり、ほぼ一日中、台所仕事をして過ごした。日程が合えば、甥と遊び、追いかけてこもした。こんな時間が楽しくて、休み明けの仕事も調子よく出られるような気がしていたが、10月下旬になると、歯が浮いた。(この表現は一般的なのだろうか。虫歯ではなく、歯を噛みあわせるとズキンと痛むときに我が家ではこういう。疲れると起こるようだ。) 気持ちと体が、同じペースで動いてないんだとがっくりした。意気込んで借りた3冊も『狐物語』をなんとか読み終えたところで2週間。

秋になり、館内から外を見ては「外でお弁当を食べたら気持ちいいだろうな」など思っていたうきうきした気分も、いまは「ぼかぼかの部屋でごろんとしたい」になっている。歯の浮きが治まるまで、休日はそのとおりの過ごし方をするだろう。枕元に『クオ・ヴァデイス』を積んで。

(竹内)